

(仮称) 札幌市浸水ハザードマップの作成・公表について

1. 取組の概要

- 近年、全国的に多発する記録的な大雨の状況を踏まえると、今後は、雨水拡充管などの下水道整備によるハード対策のみでは十分に対応できない状況も想定される。
- そのため、市民の方にご自宅などの浸水の危険度や大雨時に取るべき行動などを確認し理解していただくことで自助や共助の取組を促すソフト対策として、現在、内水ハザードマップの作成を進めており、令和4年3月に公表を予定。

ハザードマップの概略

- ・内水氾濫と洪水の情報を1つのハザードマップで確認できるよう、洪水ハザードマップと統合し、(仮称) 札幌市浸水ハザードマップとして作成。
- ・各家庭での使いやすさなどを考慮し、A4版冊子で区ごとに計10種を作成。
- ・地域での情報共有や防災訓練などにも活用していただくため、連合町内会ごとの浸水ハザードマップも作成。

2. 今回のご報告内容

- 第2回市営企業調査審議会下水道部会(R3.10.6)では、本取組の進捗状況の報告として、ハザードマップ原案についてご説明。
- その後、委員の皆様からいただいたご意見などをもとに原案を修正し、(仮称) 札幌市浸水ハザードマップとして作成したことから、今回、その内容についてご報告。

- (仮称) 札幌市浸水ハザードマップの修正事項一覧 (別紙「資料4-2」)
- (仮称) 札幌市浸水ハザードマップ【中央区版】 (別紙「資料4-3」)
- (仮称) 札幌市浸水ハザードマップ【豊水連合町内会版】 (別紙「資料4-4」)

3. 今後の予定

<令和3年度>

- 電子版については、札幌市ホームページへ掲載。(令和4年3月)

<令和4年度>

- 新たな中小河川の浸水想定区域の公表に伴う、ハザードマップの更新。
- ハザードマップの更新後、区ごとに印刷製本し、全戸配布。(令和4年度後半)